
MOON-3 『WOLF MEET VAMPIRE』 <18>

みづき海斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

MOON・3『WOLF MEET VAMPIRE』<18>

【Zコード】

Z4085M

【作者名】

みづき海斗

【あらすじ】

秀は意識を失う寸前に和人の名を呼ぶ。

そして - - -

現代版吸血鬼ファンタジー『MOON』シリーズ第3段、和人と秀の出会いを描いた『WOLF MEET VAMPIRE』第18話です。

ヴァンパイア

『WOLF MEET VAMPIRE』v1.8 (前書き)

そろそろ終わりですねー（長い。。。数えたら原稿用紙105枚だつた（￣￥））。

◀18▶

秀の体がゆっくりと地上に倒れた時。

永遠に意識が途絶える、一步手前の瞬間 - - -

”永遠の眠り”についたのは、カレンの方だった。

「・・・・・え・・・・・・・？」

「な・・・・・・・・・・・・・・？」

2人は期せずして同時に、疑問符を発していた。

カレンがゆっくりと振り返る - - -

その白い首筋に鋭く輝く、2本の牙を突き立てられたままの姿勢で。

「お・・・・・・前は - - -！」

問い合わせられた青年は、ゆっくりと牙を引き抜き、その形の良い唇に

紅の血を宿しながら妖艶に微笑んだ。

死の間際の彼女でさえ、その姿に思わず胸の鼓動を感じてしまつ様な - - 最後の一筋の青白い月光を背後に宿し、碧がかつた黒髪を夜風に靡かせながら。

碧色の深い瞳の色は、見る者全ての心を魅きつけずにいられない。たとえ、それが女であろうと男であろうと - - -『闇』であろうと『光』であるうと。

彼女が、

「帝王・・・・・・・・？」

その『主』の名を呟いた時。

彼の白い手が、背後から彼女の左胸を貫いた。

苦痛とも至福ともとれる複雑な表情と笑みを浮かべて、カレンが目を閉じる。

同時に - - - 新しい “生命の活力”をこの街に与える役目を担つた太陽が、M.Y CITY のビルの谷間からゆっくりと現れた。

• • •

春風に吹かれる訴でもなく

一瞬の間に路上へと散った。象牙色の『灰』となつて。

卷之三

自分の横を彼女の無形の淋しい”屍”が通り過ぎていくのを感じながら、かすれる声で秀は彼の名を呼んだ。

はならないのか？」

帝王 - - - 和人は微笑した。

「俺は『灰』にはならない」
“なれないと”
“らしい。”
期待に添

手を貸すに、

「……つたく、ろくな」としてくれないな、お前ら吸血鬼一族はよー！腹立たしいつたら、ありやしねえ！」

地面にどかひ、と胡坐をかき、拗ねた様にそっぽを向いてみせる。「昔ひからをひだつた。てめえが『1番^{いちばん} みたいな頃^{ころ}』やがつて。

迷惑千万たあ、この事だぜ・・・・・つづーおー、痛え・・・

ふうふう、と肘の傷口に息を吹きかける。

「悪いね、狼男。」

和人は悪びれた風もなく、彼に近づき、目の前で腰を降ろした。

「羨
がなつてなくつて。」

「帝王なら、それくらい躊躇とけよ。」

悩めしげに、横目で睨みつける - - -

が、間近に見る和人の”整い過ぎた容貌”に思わず視線をそらす。

「傷は、大丈夫か？秀。」

「？・・・・・別に - - -」

何処かで - - - 聞き覚えのある、この口語。

アレハ ドコ ダツタロウ · · · ·

「…帝王、あんた何処かでこの俺と…」「…河」

和人は朝の日射しの中で微笑んだ。

秀の田を脇しげに細めさせたのは、明るす^{アガル}朝日のせいか。

否定する様に秀は頭を振つた。
「そんなはずない・・・・・

九

卷之三

一瞬 - - 和人がその澄んだ瞳に翳りを宿した事に、秀は気付かない。

思い直して、秀は、

「わあ、決着をつけようじゃないの、帝田！一族の恨みを今こそはらしてやる！」

「陽の中でも平氣なん
た。」秀は言ひた。

「――その前に、尋ねたい事がある。」

「?何だよ、改まつて。」

拍子抜けした感じで、秀が問いかける。

先刻

静かに立ち上がる和人。

小首を傾げて、秀の瞳を覗き込む。

「…………先刻、俺の名前を呼んだのは”どっち”だ？秀。

۱۰

-え
-
-
-
-
?

「アーティンケホーブをどけていた秀の両拳が思わず下へ下かる

「『和人』って読んでくれたのは狼男か
きみ
- - - それとも
秀
の

方
?

「歴史」の記意

『入っていないだろ？その中には』

新宿中、追い求めた彼の名は
- - -

「和人！」

秀は叫んだ。

•
•
•
•
•
•
•
•

和人はほっとした面持ちで、彼の体を片手で抱きしめ、その肩に顔を埋めた。

二〇

「も行くなよ。

「ばーか

秀も苦笑いを浮かべて、和人の頭を左手で軽く抱く。「そりや、

俺の台詞だぜ。」「

やがて

街は静かに動き始める。

『昼の住人』たちの手によつて - - -。

『WOLF MEET VAMPIRE』 v.1.8 v. (後書き)

なんか「Jのまんま何処かで一時小説でB「せりれやうな氣がある」いねえよーーんなやつ）。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4085m/>

MOON-3『WOLF MEET VAMPIRE』<18>

2010年10月11日19時43分発行